

打合せ記録		名主の滝公園再生整備 説明会	
【日時】 令和7年7月29日（火）19時00分～21時00分	【出席者】 ・参加者 25 名 ・北区土木政策課 土木政策課長 整備係 3名 ・三和建設 2名 計 31 名	【場所】 十条台区民センター 別館1 階 ふれあい館第1 ホール	
【事業】 公園等整備事業			
【議題】 名主の滝公園整備工事（その2）について 他			
北区より令和7年度の工事内容及び、全体整備計画の説明 （要旨） ○工事の目的と概要 ・名主の滝公園は50年間継続運営されており、老朽化が著しい状況。 ・平成30年度より基本設計、ワークショップを行い工事計画の策定。 ・工事の進捗として、令和6年度までの樹木整理、茶室解体、令和7年度の擁壁セットバック、令和8年度の児童遊園エリアの施設更新、斜面地の災害対策、令和9年度その他のエリアの整備。 ・名主の滝公園整備工事（その2）は令和8年3月13日までを予定しており、契約金額は約2億7千万円。 ○歴史的景観の保全と向上 ・回遊式庭園としての魅力を活かし、歴史的な資源である薬医門や石敷きを可能な限り保存。 ・児童遊園エリアではインクルーシブ遊具を導入し、バリアフリー化を推進。 ○斜面地対策工事 ・レッドゾーン（土砂災害特別警戒区域）の解除を目的とし、斜面地の補強工法を報告。 （意見交換） 参加者：家屋調査は具体的にどのようにやるのか。 区：建物の状態を写真に撮らせていただく。ひび割れや隙間がもしあれば、振動によって広がったり、増えたりする場合がありますので、工事着工前に計測し写真記録を残す。また、建物の傾きも測定しておく。 参加者：3点質問したい。（1）今年度の工事を三和建設が約2億7000万円で受注した経緯について簡単に教えて欲しい。（2）昨年度の工事では、三平坂拡幅に伴う樹木の伐採が約170本もあった。終わったことだが、極めて貴重な樹木が含まれていたと考える。伐採する以外に移植等の可能性は考えなかったのか。（3）斜面地での滝への配管整備、これは具体的にはどんな工事が教えて欲しい。 区：（1）三和建設は一般競争入札により落札した。公募方式であり、申し込みした業者が受注希			

望額で応札する入札方式である。入札日は3月21日。6社応募のうち、最も価格の低い三和建設が落札した。7月の議会承認をもって本契約となった。

参加者：価格の要素だけで決めたということであるが、税金によって工事が執り行われる訳で、「質」について懸念する。例えば、6社の業者を、過去の施工の事例だとか説明などを受けてそして決めるという方法はとらないのか。価格だけで決めたのはいかがかと思う。

区：本工事は大変高額なため、議会案件になっている。我々募集させていただくにあたり、許可業種の中でもランクづけがA B C Dとあり、その中で、Aは受注実績が多く、大規模な工事実績があるなど、経験が豊富である。比べてDではそれよりも小規模な受注実績となっている。本件は上位ランクの許可業者を対象に公募しており、今回、三和建設さんが受注契約することとなった。

三和建設さんは相当昔の話であるが、この名主の滝プールの施工に携わった実績があるということも、後から聞いている。当時と状況は異なっているだろうが、そういった思い入れもあること伺っている。責任をもって工事をやっていただけると認識している。

参加者：6社は様々な工事の実績があり経験も豊富で、ある程度の水準が保たれるだろうという中から、さらに価格で絞り込んだということか。さらには、過去には元のプールの工事に携わった実績があるということか。

区：結果的に受注した三和建設さんにはそうした実績があった。競争入札においては応札金額で業者さんを決めたということである。

（2）移植の検討ということだが、三平坂の拡幅部分は地形的要因や、技術的、またスペースとしても移植作業は困難である。対象の木も大きく、移植できないと判断した。そのうえで昨年度は三平坂の拡幅準備のための樹木整理を行い、今回工事で三平坂の拡幅を行う。最終的には補植も考えている。擁壁自体はコンクリート製だが、枝垂れ様な樹種を選び、景観にも配慮した緑を追加できればと考えている。

参加者：そういうことであれば伐採の必然性があったと思う。しかし、樹木は育つまで大変な年数がかかっていて、単に二酸化炭素の吸収だけじゃない重要性がある。ヨーロッパとかでは最近ではコンクリートの学校の校舎さえも木質にするとか、それぐらい木が重要視されている。

170本も伐採する前に、これから伐採するという情報を流して欲しかった。もう終わった後だけれども、極めて重要と感じている。これからまた11本伐採するという説明があったが、それはまた後で詳しく伺う。説明資料にも樹木伐採について示してあるから、そうした意識は十分おありだと思うが、170というのは非常に多い本数である。今後は慎重には慎重を期していただきたい。

区：（3）斜面地の滝への配管の整備についてです。現在、女滝、湧玉、独鈷の滝が動かない状態になっている。おそらく配管が詰まっているのか、途中で途切れているのか、原因は定かではない。次年度は説明資料に示した通り、斜面の崩落防止の整備を行っていくに当たり、ロックボルトを打ち込む工法で考えている。ロックボルトを打ち込む前に配管を済ませる必要がある。ロックボルトが配管に当たらないよう留意しながら施工していく。

参加者：家屋調査と地耐力調査と工程表に記載がある。この家屋調査は何のために行う必要があるのか、その原因は？三平坂の擁壁を壊すときの振動だけの問題か。それ以外にも大量のダンプトラックの影響などで考えているのか。

区：おっしゃる通り、大きな重力式擁壁であるため、解体のときには、どうしても振動が出てしまう。

参加者：その解体はどういう方法でやるのか。

区：既設の重力式擁壁は自重で自立している。取り壊すためにはまず公園側の土を先に退かす必要がある。公園側に工事車両用の通路をつくり、その通路から土砂掘削を行う。掘削土はプールの跡地に仮置きする。プールの底は昨年度の工事で穴をあけてあり、水が浸透するような状態になっている。

新しい擁壁を作るにあたって、仮置きした土砂をできるだけ再利用する予定である。

参加者：埋めたままにしておくということか。

区：最終的にはプールは埋めたままとなる。

参加者：新たな擁壁を作る時の土砂はどうするのか。

区：新しく作るときには、土がない状態からプレキャストブロックを積み上げ、順次公園側をまた土で埋め戻していく。

参加者：その埋め戻しはまた公園側から行うのか。

区：プールの跡地にストックした土砂を園内側から戻していくことを考えている。三平坂を拡張した部分は道路になるので、余剰となる土砂は処分する。

参加者：先ほど話があった通り、土砂運搬のダンプ台数は、極端には多くないということか。

区：プール跡地を土砂のストックヤードとすることで、ダンプ台数を減らす工夫をしている。

参加者：擁壁の壊し方だが、ブレーカーは使うのか。

区：主にワイヤーソーやウォールソーという切断工法を主に用いる。擁壁を露出させた状態から運び出せる大きさに切断して撤去する。できるだけ振動を抑えた工法で行う。

参加者：昨年度パーゴラの解体に使った、油圧破碎機は使わないのか。

区：できるだけ振動が出ないように、そういった静的破碎機を主に使う。ただ、ある程度の大きさに擁壁を切断した際、公園側に倒したり、持ち上げたりする作業があるため、振動が発生することもある。よって、まずは事前に家屋調査を行い、現状を記録しておく必要があると考えている。

参加者：何かあった場合には補償の用意があるということか。

区：工事が原因の際に補償できるように事前調査を行う。

参加者：地耐力調査とは何か。

区：地耐力調査は家屋調査とは別で、新しくコンクリート擁壁を築造するために、地盤の強度を調べるものである。

参加者：工事車両が多数走るため、道路の地耐力を確認するという意味ではないのか。

区：擁壁下の地盤調査である。

参加者：道路はダンプが多数走っても問題ないのか。

区：今回使うプレキャスト擁壁は、ブロックを組み合わせて築造していく。1個でもそれなりの重量はあるものの、現場状況にあった資材・工法を選定している。これらを三平坂の低い側から組み上げていく。

参加者：擁壁の高さはどのようなになるのか。

区：今の擁壁と同程度の高さとなる。

参加者：私は名主の滝公園整備工事があること自体を、昨年12月30日に岸町に住む友人から聞いて知った。藤棚が撤去され、イチョウも伐採されてすごい音がしていると言っていた。区役所は年末で休みだったので、年明けに区役所の担当者を訪ねた。工事の内容や不明点についての説明を聞いて、いろいろお世話になった。

今日は土木政策課長にもお目にかかり、事前に申し入れをしたのだが、内容について全然知らなかった。工事説明会の開催のお知らせについて、近隣の町会の方たちに事前に説明し、掲示板に掲示したというが、私なんかは上中里なので知らなかった。

私は伐採の進め方に問題があると思っているので、もっと全体に向けて知らせて欲しい。その時点では110本の木を切ると聞いたので、その場は一旦中止して欲しいと申し伝えた。残念ながらその時は、2月から作業予定が決まっていた、結局伐採樹木は170本となった。今日の資料の伐採樹木の表を確認したところ、幹周1m以上の木が47本、幹周2m以上が6本、非常に大きい木が33本あった。

今、もの凄く暑くて大変な気候変動の危機があって、国際司法裁判所では7/23ごろ、環境破壊に対して各国に厳しい処置をとるようにという勧告が出たと思う。ですから、今後絶対に幹周2m以上の大きな木に関しては大切に扱ってほしい。北区みどりの条例でも木を伐採したら、それ以上を補植することというふうにも書いてあると思う。だが実際は、それほど大きな木を突然植えることはできないでしょうから、今ある大きな木をもっと大事にして欲しい。

最初のこの計画のときと、近年の気候変動の状況っていうのは、認識が大分違ってきたと思う。今年はもう本当に地球が大丈夫かという危険水域に入ったと感じる。そういうわけで、すでに整備計画が出来ているとは思いますが、世に広く知られているわけではない。

すでに決めたことだということではなく、これからも柔軟に対応していただきたい。

次に、説明会の会場だが、私にとっては北とびあだと便利でありがたかった。また、今回だけでは時間が足りないので、今日の問題に関してまた説明会を開いてほしい。北区の見解をいただきたい。

区：説明会の場所、今般の環境に対して、また樹木の考え方についてということで、ご意見をいただいた。私たちも、さらに勉強を重ねながら事業を進めていきたいと考えている。木を大切にしながらも、必要な施設とのバランスに考慮して整備計画を立て、さらに皆様へ説明してまいりたい。今後の会場については、北とびあでの可能性も検討させていただく。

参加者：ワークショップを平成30年からやっていると聞いている。参加人数や募集方法を教えていただきたい。多くの市民を入れずに不適切に実施したのでは。

また、名主の滝公園は景観重要公園になっていると思うし、都市計画公園で都市公園法もかかっている、歴史公園になっている。歴史があるということは、幹周が1m以上とか3mもあるような大きな木が多い。そういった大きな木は1本でも小さな木の50本分やその位の緑量がある。根の量も同様で、普通の木は50本ぐらいの水を吸っていて、そのおかげで今まで斜面の土砂災害を防いできている。

それなのに、たくさんの木を伐採すれば、斜面に染み込む雨水が多くなって、斜面が危なくなる。

来年度以降の斜面地対策工事について、打補強ボルトは木の幹を避けられても、根は避けられないだろう。そうなれば、木は大きくなれず、大木はもう育たないことにもなる。それに、対策工事を実施して土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）を解除しても、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）は地形で決まってしまうため、指定を外すことはできない。

特別警戒区域は解除できても工法に疑問がある。補強ボルトが何年持つかもわからない。

樹木があれば根が水を吸うから斜面が安定する。補強ボルトの鉄が錆びて腐った後はどうするのか。何十年…20年後一気に斜面が崩壊することだってあるのでは。地中の水の動きなんかも調査して欲しいと思う。

もう1つ、プールの底に穴をあけたと言うが、そこから水みちができて、土砂災害が起きることもあると聞いた。プールの底は全部撤去して木を植えて欲しいと思う。また、昔は湧水があり、それを名主の滝にとかプールに使っていたそうだ。湧水がいまどんな状態なのか調査はしたのか。

また、景観法だとかに対して学識経験者を交えた報告書のようなものは作っているのか。

それから、2項道路のセットバックについてである。三平坂では、1メートルのセットバックで十分なところを、歩道2メートルをさらに足して3メートル位セットバックしている。さらに、西側（防災広場）上の方の道にしても、入るところが3メートルしかないのに、5メートルほどの園路と駐輪場にする等、事前に全然説明されていない。なぜそれが必要なのか区民へ公開されてない。

私自身は先日区の担当から詳しく聞いたのだが、駐輪場の必要性だとかが納得できないので、きちんと説明してもらいたいと思う。

また、来年度以降の展望デッキ整備であるが、これによってもたくさんの木が切られるということである。入口部分の広さもないのに、なぜそれほどセットバックする必要があるのか。説明の仕方が、いい加減だと思う。

今日の資料でもセットバックでこの場所がどうなっていくのか説明されていないし、なぜ今回11本の木を切る必要があるのか、別に駐輪場の中に大きな木が残っていてもよい。

今日の資料ではこうしたことに対して検討できない。切る必要のない大きな木を何本も切る

ような計画になっていると思う。

今年度の工事であっても見直してもらいたいし、再度区議会議員や景観の専門家とか、緑のサポーターなどと呼んで現地見学をもう一度やってはどうか。あとは、木を切る前にはちゃんとお知らせすべきなのに、8月からもうここに入れないというのはおかしいのではないかな。

きちんと市民に対して、どの木を伐採するということがわかるよう現地に入れるようにしなくてはならない。先日、木に黄色いテープが巻いてあったのを確認したが、あれほどたくさん切るなんて言ったら、もう大ごとなのでもう一度きちんと現地説明して、入口にも案内を書いてほしい。皆さん伐採される木と最後のお別れだってしたいですから、急に立ち入り禁止にはしないでほしい。

区：平成30年にワークショップ、意見交換会をさせていただいた。当時、今と同じように地元4町会の皆様にお声掛けし、様々ご意見をいただいた経緯がある。その後、4年ほど間が空いてしまった。

整備には様々課題が大きく、私どもの検討がなかなか進まなかったところがあった。その後の名主の滝公園はどうなっているのかというご意見もいただいた。その後状況も変わり検討再開に至った訳だが、当初より様々なアドバイスいただいた地元町会、まずはこの方々のご意見を中心にやっていきたいと考えた次第である。そうして今日に至るところである。

樹木に関しては、おっしゃる通り大事だと思っている。一方で、周辺の皆様からは維持管理の徹底、さらには整理の要望もいただき、検討を進めてきた。

どうしても、維持管理がしにくい環境にあったところだが、このたびの整備の機会をとらえて、今後の利用や、維持管理の視点も踏まえて、必要最小限で整理を行うということも見据えてきた。

おっしゃる通り、事業が進むにつれ、取り巻く環境が変わるというものもある。可能な限り保全に努めて、新たな樹木も植えながら、この名主の滝公園を回遊式庭園として復活させていきたいというふうに思う。今後も工事は続いていくので、適時説明したいと考えているので、また機会をとらえてお声掛けさせていただきたい。

参加者：私は赤羽西地区に住んでいます。そばに赤羽自然観察公園があって、都市計画道路補助第86号線の計画では、道路が盛り土になったり削られたりするようだ。あのあたりのバス道路下の方は地盤が柔らかく、浸水する。公園が台地の上、人の多く住んでいるエリアは低地。名主の滝公園工事の話を聞いたときに、状況が似ていると感じた。

例えば、三平坂のプレキャスト擁壁は、坂の下の方がもし地盤が柔らかかったとしたら。家屋調査は工事前と、工事直後に行われる。工事の後数年かそれより長い間に、車が通ったり、地震があれば擁壁は傾いたりすることがあり得るのではないかな。

また、疑問なのだが、名主の滝公園は昔、湧き水がすごく多かったと思う。プールの水は井戸水から取っていたのか。

地盤工学の先生のお話を聞いたことがあって、その方は外環の陥没の事故研究なんかに全部関わっている方である。その方が言うには、地盤に手を入れると、必ず思いもかけないようなところで弊害が起きる。まさに外環もそうであったように。

上のプール跡地がどうなるのかわからないが、どこかに水脈があったとしたら、そこを閉塞

すれば、その水は別のどこかに流れていくこととなる。三平坂のほうにも行かないとも限らないのでは。プール跡地側と低地側の工程差はおそらくだが、男滝の高さ 8 メートルと同じ位の高低差があるので、水がどこを流れていくか把握しているのか。

赤羽自然観察公園にも土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の指定があるが、公園は自然のままでもいい。私は赤羽自然観察公園 100 年の森にしたいと運動している。100 年も経つようなコブシの木をはじめ、多くの木が植わっているが、名主の滝ほど大きな木はない。それは、自衛隊や軍部、それからアメリカ軍が使っていて、2〜30 年経ち木が大きくなった。自然を守ることは動物の生態系も守ることである。今日の日本は環境が破壊されている方向に進んでいると思うので、町も公園も是非守って欲しい。

三平坂は自転車がよく通るが、木が全然なくなったことに本当に驚いた。

お金をかけた大工事で、回遊式庭園というのは、そんなに手を入れるものかなと。だれでも入るような公園しようというコンセプトはわかるのだが、だからといって全て一新してしまったら、回遊式庭園のよさが失われてしまうのではないかなと思う。

理屈はわからなくもないが、それほど広大でもない名主の滝公園にデッキや人工物を作るというのはよくないと思っている。

参加者：今の方には、私がずっと考えていたことのかかなりの部分を代弁していただいたと思う。意見としては、最初の児童エリア改修工事、展望デッキ、児童エリアの遊具、こういう人工的なものを、設置する必要があるのか。

また、疑問に思っていたのが児童エリアである。この場所に果たして子供が遊びに来るのか、利用者数の調査結果等があると良い。

それから、展望デッキであるが、高知さ 8m では展望するほどの高さではない。

例えば、座っておにぎりを食べられるようなベンチ等の簡易なものを設置した方が、はるかに喜ばれると思う。

名主の滝公園は自然のままが最大の売りで、整然としてしまっでは魅力を感じない。鬱蒼としているところが良いのであって、鬱蒼とした自然教育園のような場所が非常に希少である。だから、児童エリアや展望デッキを作ることに、果たしてどれほどの意味があるのか疑問が残る。

だが、回遊性の向上は理解できる。安全性なんかは尊重すべきだから、どうしても必要な伐採は進めていただきたい。しかし、基本理念として自然のままというのは極めて重要だと思う。名主の滝公園は、他の公園にない魅力があるので、なるべく保っていただけることを強く要望する。これから後の工事でもこれら基本理念を重視して進めていただきたい。

繰り返しになるが、児童エリアや展望デッキが本当に必要なのかどうかを問いたい。

参加者：私は 3 点伺いたい。1 点目は、こうした説明会、或いは北区ニュースなどの広報含めて、これまで平成 30 年ごろから計画されたということだが、何回ぐらい説明が行われたのか。

2 点目は、いろいろな意見があり、おそらく工事も延長が生じて予算が膨らんでいるだろうと思われる。わかる範囲で結構だが、当初計画からどれぐらい予算が膨らんでいるか。

3 点目、工事と直接関係ないが、名主の滝公園の敷地はなぜいびつな形をしているのか。民有地が入り込んでいるので、どういう経緯か教えて欲しい。

区：まず、これまでの意見交換又は説明会の経過について。平成 30 年度には、3 回ほど実施した。その後間があいて、令和 4 年度に 2 回、令和 5 年度も 2 回、令和 6 年度に 2 回、周辺

の皆様にお声掛けし、説明をさせていただいていた。北区ニュースでの広報は今回が初めてである。

（ワークショップ：平成 30 年度に 3 回実施）

（説明会：令和 5 年 5 月 18 日、令和 6 年 7 月 18 日、令和 6 年 12 月 9 日に実施）

（その他 地元町会、連合長会へも別途意見交換、説明を実施）

先ほど申し上げた通り、沿道や周辺の皆様から、様々おしかりやアドバイスを頂きながらここまでできたこともあるので、やはりそこを中心にやる必要があるだろうと判断をさせていただいた。いっぽうで、北区の財産ということには違いないですし、歴史公園という位置づけもある。他の公園整備でも、ワークショップや説明会を北区ニュースでお知らせをしている。名主の滝公園についても今後は、北区ニュース等で広報をしていきたいと思っている。2 点目の事業費について、引き続き設計を進めている状況である。昨年度から工事を開始し、令和 9 年度予定の完成まで工事を続けていくが、それぞれ年度ごとに設計を進めていて、全体がどのくらい膨らんだかということまでは把握できていない。ただ、近年の物価高騰もあり、物価上昇分は見込む必要があるのだろうと考えている。

最後に、敷地の形について詳細は不明である。都市計画上の公園区域と、現状の区域は合っておらず、都市計画公園の区域に民有地も含まれている。

今までの経過から推察すると、江戸時代から始まって、精養軒さんが運営して、さらに都立公園となり、その後、昭和 50 年に北区に移管されたという流れの中で、この形状になったのであろう。

参加者：わかりましたありがとうございます。

3 点目の公園の形状ですが、最初にこの土地を所有した人が、こういういびつな形で取得するはずはないと思う。何か経緯があると思うのですが、それはわからないということで結構。

それから、平成 30 年以降、何度も説明会を開いたり、広報誌に載せたり何度もやっておられる。それでもなお、今日これだけの意見が出ている。受注者の三和建設さんもやりにくいのではないと思う。工事の内容に文句があれば、区議会に言うべきではないか。区役所側も執行者でしかない。それから、三和建設さんは工事を受注し、粛々と工事を進めるにすぎない。だから現場でマイクを持って三和建設さんに色々と呼ぶのは絶対に筋が違うと思う。そこだけは、皆さんにもお願いしたい。

参加者：総予算について教えてほしい。予算というのを発表されたと思うのですが、知りませんので教えて欲しい。今回の工事だけでも 2 億円以上。全体ではどうなっているのかなというのを知りたい。

それから、私も近くに住んでいるのだが、ブロックの擁壁が高く積み上がるのかと思うと、恐ろしい気がする。

もうやることは決まっていると思うが、近所に住んでいるものとしては、倒れてくるのではないかと不安があるということをお知らせしたい。

区：予算ですが、年度ごとに設計を進めながら、金額を詰めて発注に至っていて、全体というのはまだ把握できない状況。また把握でき次第お知らせして進めていく。

参加者：それは無責任だと思う。

参加者：家屋調査について。来年度伐採する予定の木の近くに住んでいる。昨年度の伐採工事の伐採工事で、大きな枝を落とす時だと思うが、ものすごい衝撃があった。

伐採工事に対しても家屋調査の対象となるのか。例えば、木を落としたことによって家の外壁のモルタルにひびが入ったり、何か異常あったりしたところだけを直していただけるのか。

もしくは、衝撃の少ないやり方で伐採ができるのか。

区：一度に伐倒するようなやり方は考えていない。お家を見させていただければ、個別に相談させていただきたいと思う。

参加者：今年の春に地震のような衝撃があったので、もし壁にひびが入っていればそこから雨が吹き込んで、雨漏りの原因となるなどある。つきましては、確認をお願いしたい。

区：後ほどご相談させていただく。

参加者：先ほど、文句があれば議会に言うべきといったご意見がありました。我々は現場の工事受注者に言っているのではなくて、区の担当職員に対して意見しているわけであって、議会にはどのように話すのか。区議会議員はまさにそういうために存在するわけで、区議会に働きかけて、話し合いができるのならそれでよい。

我々としても、このような場を設けていただいているから意見し、区にはそれを吸い上げていただいて、工事の参考にさせていただきたい。工事業者に文句を言っているとかではなくて、建設的に。ただ、区の方は大変だなと思って聞いてはいたが。

議会に言ったってそういうわけにいかない。ちょっと、おかしいと思う。

参加者：これまでの経過説明の中で、北区ニュースでの広報は今回が初めてだという話だった。それが遅かったのではないかなと思う。技術的な検討も含めて、意見交換を再開する段階で、もう少し早く広報していればよかったのではないか。

名主の滝公園は北区の公園の中でも、歴史的、自然的な特色を持っている。そこで大きな木をたくさん切ってしまうと、それを目にしてしまうと、何で私たちに知らせないで勝手にやっているのかとなる。手順が間違っていたのではないか。

一方で、今日これだけ大勢の方がいらしゃった。マイナスの影響としては、近隣にお住まいの方はこれからの工事で一体どういう影響が我が家に発生するのだろうかということを、気にされている方も大勢いると思う。この議論を、今日の説明会 1 回だけで済まそうとするにはちょっと深めづらい。

提案だが、近隣への工事の説明の部分と、これから名主の滝公園全体をどう整備していくのかという、北区民全体に向けた説明を切り分けて整理して、説明の場を段階に応じて、設定させていただいてはどうか。その方がより、わかりやすく建設的な意見交換に繋がるのでは。ご検討いただきたい。

工事を進めていくと一番大きな影響を受けるのは、間違いなくご近隣の皆さんとなる。その方々への配慮というのは十分にさせていただく必要がある。三平坂のあたり、非常に難しい状況というご意見があったが、本当に丈夫なのか、心の中で思っている方は大勢いると思う。そういった方々にも、きちんと答えられる場を設けていただいたほうがいいのではない

か。

次に質問になる。

1 点目。資料の 10 ページ、プール跡地エリアについてである。資料の右下のページの数字の番号のすぐ横に、1941 年記録会の様子という白黒の写真が出ている。私の記憶だが、確か 2020 年の東京オリンピックの前年に、NHKスペシャルで北島康介さんがここを訪れて、この 1941 年の記録会は、本当であればその前年に東京でオリンピックをやるはずだったが、日本が戦争に突き進んでいく中で、なくなってしまった。

けれども水泳に携わる皆さんが、それでは余りにも選手が不憫だということで、時の政府の方針に抗って、記録会という形で水泳大会を催されたといったこと紹介されていた。この写真はそのときの記録会だと思う。その番組では今は何にもない草地けれども、先人たちの想いがたくさん詰まった場所ということで、北島さんはしばらくたたずんでいるような場面が映し出されていた。

その上で何うが、その写真のちょっと上のところに、歴史の継承として公園の歴史がわかる資料保存掲示とか、飛び込み台の保存を考えておられるが、戦前のときのものがここに残っているものっていうのはおそろくないと思うが、あるとすれば、何をどれくらい残すのか、どのように展示するのかを伺いたい。

それから 2 点目として、この辺の道路は狭くて、また近隣の住宅にかなり近接しているということなので、夜間閉鎖するというのは仕方のないことだと思う。

一方で、一時集合場所として活用したいということで、夜間の防災対策をどういうふうに考えているのか、鍵の管理を近隣の町会さんをお願いするなど、どのように考えているのか。プール跡地エリアについてこの 2 点をお聞きたい。

区 : 1941 年記録会の様子の件は、お話いただきたいことがもうほとんどその通りです。戦争で幻となってしまったオリンピックの翌年に、忍んで夜間やったとかというような記録もあるようだ。このプールは、精養軒が所有する時代にプールをつくって、同じ場所にずっとあるもの。正直なところ、飛び込み台は当時のものかどうかは、わからない。ただし、ここに戦前からプールがあって、記録会があった事実を、何らかの形で残しておくべき場所だと考えている。

歴史の保存継承では、こうした写真も含めて、説明板を作ろうと考えている。説明版の作成にあたり、精養軒さんに写真をお借りし、内容も確認していただいたりしながら、作成の準備をしている状況。

夜間の鍵の管理についてだが、もともとは夜間開放を考えていた。ただ、町会の方からは、見通しが悪く夜間何が起きてもわからないというご意見があり、夜間は閉鎖管理とする方針に変更している。

鍵の開閉については、公園管理部署で行う予定である。ただ、緊急時、災害時には地元町会の方が鍵を開けられるよう、南京錠等を考えている。

今でも、正門の鍵は、そういった協定を結ばせていただいております、鍵をお渡ししている。

いっとき集合場所となるプール跡地も、同様の運用を想定している。

- 参加者：はい、わかりました。通常の鍵の開け閉めは町会さんの手を煩わせることはないと考えているのか。
- 区：そうである。
- 参加者：その歴史の継承のところで、公園内の石材を処分せずというところがありますけれども、これはどちらかっていうと、そのこのプールのところの歴史の継承というよりは下の方で発生したその庭園内の石材を、有効活用するという理解でよろしいか。
- 区：そのとおり、主に庭園下の石材のことを指している。
- 参加者：そうすると、かつてプールがあったということイメージできるような、空間として整備されるということでしょうか。
- 区：そう考えている。飛び込み台を残し、あとは歴史継承の解説板を通して、ここで何があったのか分かる形にしていきたいと考えている。
- 参加者：資料のイメージ図を拝見すると大きさがよくわからないが、プールの雰囲気はつかめるのかと思う。実際でき上がってみないとよくわからない部分もあるが、誰が見ても、プールの面影を思い起こさせるようなところまでやって歴史の継承だと思うので、ぜひよろしくお願いしたい。
- 区：皆さま、まだまだ様々ご意見はありますが、終了時刻となりますので時間の方、今日のところは終了とさせてもらいたい。
- 参加者：すみません、もう少しだけよろしいか。大きく手入れをするということで、いま滝の水が、自然に出て来ていないのだとわかったときのショックがすごかった。地下水ではなく水道水ですよ。
- そういうものを自然のものに再現していく方向性はないのか。崖線を生かして、池では自然な湧水が湧いて来るような、自然の流れというか息吹がある公園。樹木もいっぱいあってすばらしく、水が循環するというのも大事な要素だと思う。北区が誇れる公園ということで、自然に滝が流れているというのが一番大事なことでないかと思うし、調査とか、専門の学識者を交えてやって欲しいなということ。
- あとは、高台側のプールの跡地とか児童遊園エリアの使い方である。便利なようだが、土じゃないもので固めて、下に水が流れないようにするのではなく、本当に自然のままをどう残していくのかという形でぜひ進めて欲しい。
- 先ほど別の参加者の方も、これ以上木を切らないでとおっしゃっていたし、プール跡地をどうしていくのか多数ご意見がある中で、繰り返し説明会の資料を見ても、すでに結構完成された図面のように、あまり意見できる状況ではないのではという雰囲気がある。繰り返し説明会を開いて、少しでも誇れるものにしていって欲しいと要望する。
- 区：大変多くのご意見をいただきありがとうございました。私たちとしても、これまで説明の場というのが、皆さまにとってはまだ足りなかった部分を感じている。説明をする必要があるということを重々感じており、引き続きいただいたご意見も参考にしながら、工事が始まった後も見直すべきところは見直し、樹木ばかりではなく、将来の公園管理の視点でもまだ設

計書が完成していない部分もある。

できる限り丁寧に対応していきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いしたい。
最後になりますが、土木政策課長より、閉会の挨拶です。

区 : 今日はいろいろご教示いただきましてありがとうございます。

これから第二期の工事を始めさせていただきます。周辺の皆様方には、様々ご迷惑をおかけすると思いますが、極力丁寧に対応しながら工事を進めて参りたいと思います。

また、整備内容につきましても、湧水のお話等は、周りの町会の皆さんからもいただいています。そういった視点も大事にしながら、極力樹木を保全し、さらには更新等でバランスをとりながら、地域の安全性、快適性の確保もしていきたいと思っています。そうして、公園の魅力も復活させていきたいと思っています。

今日は様々なご意見いただき、また事業へのご理解をいただきありがとうございました。

今後も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。